

目次 Contents

- 2 目次・すその人
- 3 特集 市民課窓口は予約で「待たない窓口」へ
- 4 市民のふれあいフェスタすそのを開催
秋のスポーツイベントの参加者を募集
- 5 里親になりませんか～10月は里親月間です～
水道メーターの定期交換
平松踏切拡幅事業
- 6 結核は今でも日本最大級の感染症です
10月16日(月)～22日(日)は行政相談週間です
- 7 インフォメーション
- 11 フォトグラフ
- 12 図書館だより
- 13 そうだ図書館、行こう。秋
- 14 救急協力医
- 16 裾野っ子・市長戦略最前線

表紙 Front cover



富士山すその阿波おどり大会

コロナ禍で中止されていた裾野の夏の風物詩「阿波おどり」が帰ってきました。駅前広場を会場に、地元連や招待連が演舞し、ダンスなどのステージ披露やマルシェに多くの人で賑わいました。



第17回全日本中学野球選手権大会 ジャイアンツカップ準優勝

静岡裾野リトルシニア

8月21日(月)に東京ドームで行われた決勝で、世田谷リトルシニア(東京)に1-4で敗れたものの、全国準優勝を果たしました。選手たちは「仲間との団結、力を合わせることの大切さ学んだ」「自分のためだけでなく、仲間のために野球ができた経験を今後の人生に生かしたい」「チームで野球をすることの楽しさを知った」と想いのある言葉を伝えてくれました。

佐藤監督は「中学校最後の1年間で、選手、家族、チームスタッフの三位一体で野球ができ、選手たちは本当によくがんばってくれました」と誇らしげに話してくれました。



村上選手は「バッティングの不調で本当に辛い時もあったが、監督やコーチ、両親に支えられました。最後に3塁打が打てて、本当に良かった。今のチーム、この仲間野球ができることの素晴らしさを実感しています」と。チームは令和4年の秋の関東大会で優勝、令和5年の春の大会は全国ベスト8でした。これまでの結果からも夏の大会は期待が大きかったですが、2回戦サヨナラ負けで悔しい思いをし、杉山キャプテンは「このままでは終われない」とチームをまとめ、このジャイアンツカップに臨んだそうです。

遠方からチームに入団している選手も多く、家族の大きな支えに感謝の気持ちを口にする選手が多かったです。これからは高校野球でそれぞれの進路に進みます、さらなる活躍を期待します。



susonobito No.53